


平成30年6月15日

東松島市議会議長 阿部 勝徳 様

(会派名) 清風・公明

代表者氏名 五ノ井 惣一郎  印

会派活動実施報告書

東松島市議会政務調査費をもって、下記の会派活動等を実施したので、報告します。

1 会派活動の項目

調査研究費	研修費	広報費	会議費
-------	-----	-----	-----

2 活動名称：

- (1) 学校法人タイケン学園グループ視察
- (2) 長野県茅野市における子育て支援事業および文化財保護・維持管理視察
- (3) 宮城県東京事務所の現状と派遣職員の活動状況視察

3 実施期日：

平成30年5月15日(火)～17日(木)

4 活動目的：

視察場所	視察項目	視察目的
学校法人タイケン学園グループ	1 理事長表敬 2 ウェルネス矢本保育園の基本運営について 3 今後の教育構想について	誘致が予定されている学校法人タイケングループの現状と本市での事業展開の構想を伺い、今後の支援体制の在り方及びセ策提案への資とする。
長野県茅野市	1 子育て支援事業 2 文化財の保護・維持管理	待機児童対策及び子育て世代への支援の在り方を視察し、今後市の行う事業計画への提案の資とする。
宮城県東京事務所	1 宮城県および東松島市に於ける企業誘致の現状 2 アンテナショップに於けるPR活動の現状	1 県の企業誘致活動の特色と現状 2 アンテナショップにおける活動 3 派遣職員の激励

5 活動成果

別紙「平成30年度第1回視察成果報告」のとおり



平成30年度第1回視察成果報告

1 視察期間

平成30年5月15日（火）～17日（木）

2 視察先

- (1) 学校法人タイケン学園グループ
- (2) 長野県茅野市における子育て支援事業および文化財保護・維持管理
- (3) 宮城県東京事務所の現状と派遣職員の活動状況

3 視察項目及び内容等

視察場所	視察項目	視察目的
学校法人タイケン学園グループ	1 理事長表敬 2 ウェルネス矢本保育園の基本運営について 3 今後の教育構想について	誘致が予定されている学校法人タイケングループの現状と本市での事業展開の構想を伺い、今後の支援体制の在り方及びセ策提案への資とする。
長野県茅野市	1 子育て支援事業 2 文化財の保護・維持管理	待機児童対策及び子育て世代への支援の在り方を視察し、今後市の行う事業計画への提案の資とする。
宮城県東京事務所	1 宮城県および東松島市に於ける企業誘致の現状 2 アンテナショップに於けるPR活動の現状	1 県の企業誘致活動の特色と現状 2 アンテナショップにおける活動 3 派遣職員の激励

4 視察時程

月 日	時 間	場 所	備 考
5月15日 (火)	06:48	矢本駅発	仙石東北ライン はやぶさ4号 かがやき502号
	07:52	仙台駅発	
	09:07	大宮発	
	09:37	上野発	ウェルネススポーツ大学
	10:32	布佐駅着	
	11:00	施設視察	
	13:40	市内視察終了	
	14:10	布佐駅発	カンディオホテルズ茅野泊
	18:03	茅野駅着	
	18:30	ホテル着	
16日 (水)	08:30	ホテル発	
	09:00	茅野市役所着(視察)	
	10:30	茅野尖石縄文考古館へ移動	
	11:00	茅野尖石縄文考古館着	

	12:40	視察終了	
	13:33	茅野駅発	あずさ18号
	15:48	渋谷駅着	
	16:00	ホテル着	ホテルメッツ渋谷
17日 (木)	08:00	渋谷駅発	
	08:10	永田町着	
	08:30	宮城県東京事務所着	
	11:00	永田町発	アンテナショップ視察
	11:30	池袋駅着	
	12:30	池袋駅発	
	13:20	東京駅発	はやぶさ23号
	15:16	仙台駅発	仙石東北ライン
	16:02	矢本駅着	

5 参加者名簿

	氏名	役職
1	五ノ井 惣一郎	会派代表、議運副委員長、総務常任委員会副委員長
2	熱海 重徳	会派副代表 財務常任委員会委員長 広報常任委員会
3	上田 勉	会派代表・民生教育常任委員会委員長 広報常任委員会
4	土井 光政	会派事務局長、産業建設常任委員会
5	齋藤 徹	産業建設常任委員会
6	石森 晃寿	総務常任委員会
7	手代木 せつ子	民生教育常任委員会、広報常任委員会

6 質問事項等

視察場所	視察項目	質疑内容
学校法人タ イケン学園グ ループ	1 施設見学	1 ウェルネススポーツ大学の基本 運営について 2 改修事業費 3 教育の現状
	2 ウェルネススポーツ大学の 基本運営について	
	3 今後の教育構想について	
長野県 茅野市	1 子育て支援事業	1 待機児童の状況、保育所・幼稚園の 運営状況、こども館の運営に いて 2 子育て支援センター事業、就学 までの特色ある事業
	2 文化財の保護・維持管理	
宮城県 東京事務所	1 宮城県および東松島市に 於ける企業誘致の現状	1 県の企業誘致活動の特色と現状 2 アンテナショップにおける活動 3 派遣職員の激励
	2 アンテナショップに於ける PR 活動の現状	

7 視察の成果

今回の視察は、30年度第1回でかつ統合後初めての会派による視察研修である。誘致が予定されている学校法人タイケングループが検討している本市の鳴瀬未来中学校を利用したの高等学校開校事業の構想と現状を調査するため、廃校となった学校を利用したスポーツ大学(ウェルネススポーツ大学)の施設の現状、茅野市に於ける待機児童対策及び子育て世代への支援の在り方を視察し、今後市の行う事業計画への提案の資とすることを目的に計画した。

また、同時に視聴が選挙公約で示したもののうち宮城県東京事務所に派遣した職員の激励併せて、県の企業誘致活動の特色と現状、アンテナショップにおける現状を視察した。

調整期間のが短期間であったが茅野市および学校法人タイケン学園の協力に感謝する。

(1)学校法人タイケン学園

ア 全般

学校法人タイケン学園グループは、専門職の人材を輩出しています。

平成10年4月の開校以来、全国で大学・専門学校・高等学校・財団法人・社会福祉法人等を運営している。

各校ではスポーツ競技者、スポーツトレーナー、スポーツインストラクター、保育士、幼児体育指導者、歯科衛生士、動物看護師、ペットトリマー、ドッグトレーナー、飼育技士、ドルフィントレーナー等の専門職の人材を養成しています。

一例として、アテネ五輪(2004年)、北京五輪(2008年)、ロンドン五輪(2012年)、リオデジャネイロ五輪(2016年)の代表選手やシドニー五輪(2000年)日本選手団公式トレーナー、ワールドカップ大会の優勝者、世界選手権出場者、インターハイ優勝者、プロ野球選手の輩出等、国内外の大会で活躍する幾多のアスリートやトレーナーを輩出している。

タイケン学園グループは、スポーツ大学1校、高等学校10校、専門学校7校、保育園をウェルネス保育園矢本をはじめ7園を運営している。

日本初の教育システムにより、スポーツに特化した職業人の養成を目指し、昭和51年、「体育健康クラブ」を東京都板橋区成増に設立したことに始まった。

これを皮切りに幼児体育指導者の派遣、幼少年スポーツクラブを全国で展開している。



大学校舎



玄関



なお、「タイケン」の語源は体育の「タイ」、健康の「ケン」。

昭和57年には「社団法人幼少年体育振興協会」を設立し、国内で幼児教育、幼児体育指導法等の分野を確立。

平成10年には「学校法人タイケン学園」を設立し、以後、高等教育、中等教育に進出し、全国で大学、専門学校、高等学校、保育園、こども園等を開校している。

平成23年に設立した「社会福祉法人タイケン福祉会」では保育事業、こども園、学童クラブ事業、高齢者支援事業を展開している。

イ 日本ウェルネススポーツ大学

新しい体育・スポーツ振興のステージを担う指導者を育成するために、平成24年、「日本ウェルネススポーツ大学」を設立し、21世紀を担うスポーツ専門職「スポーツコーディネーター」の育成を進めている。

さらに、入学者の多様なニーズに応えるため

に、平成30年、全日制（通学課程）が開設された。

(ア)日本ウェルネススポーツ大学の最大の魅力は、学費にある。

格段に安い学費で、質の高い大学教育が受けられる。

卒業するとスポーツプロモーション学の学士が授与されるほか、希望者は在学期間中に指導者ライセンスや各種資格を取得することができる。

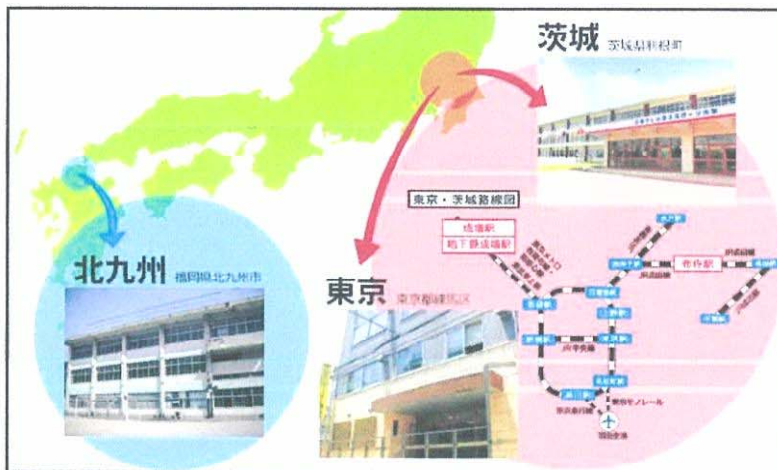
当大学は、スポーツプロモーション学部を有し、スポーツコーディネーターの育成、2つの課程を擁する日本初のスポーツ大学である。

- a 学部名：スポーツプロモーション学部
- 学科名：スポーツプロモーション学科
- 課程：通学課程、通信教育課程

- b スポーツ発展への新しい概念 スポーツプロモーションとは

スポーツプロモーションとは、スポーツの普及・促進・発展を意味する言葉であり、スポーツと人びととが直接かかわる実感や受けとめ方を大切にし、その中でその意味や価値を明らかにしながら、必要な考え方や思想を促進し、発展させていくこと、すなわちプロモーションという概念が重要になってくる。

大学では、生活地域・社会をプロモートするスポーツのデザイン経営、政策立案能力開発を学ぶことによって、社会全体を見通す幅広い視点とマネジメント能力を習得し、問題を発見して解決できる実践力を有する人材の養成を目的とした授業を行い、スポーツコーディネーターの育成を目指している。



図書館に改修

(イ) 学習形態

全日制（通学課程）と通信制（通信教育課程）による学習形態があり、生活環境に合わせて効率的かつ柔軟に学習できる。

スポーツに打ち込みたい学生は単位を取りつつ、思う存分活動できる環境が揃っている。

(ウ) 選べる3キャンパス！

（茨城 東京 北九州）

茨城県利根町、東京都板橋区、福岡県北九州市にキャンパスを構え、学べる。

(エ) 充実したキャリアサポート

充実した就活サポートがあるから、部活に専念できる!!

部活動のコネクションのほか、より強力なキャリアサポートとするため専門企業とタイアップして、企業説明会や学校コネクションの用意、身だしなみ・立ち振る舞い、模擬面接などのセミナーがある。

ウ 利根キャンパス

茨城県と千葉県を結ぶ県道4号線に面した広大なキャンパスであり、中学校を大学に改修した施設である。

今回はこの施設を選定し施設のノ概要および運営状況を視察した。

講義室や研究室、図書館、グラウンド、体育館、PCルーム、学生ラウンジホールなどがある。

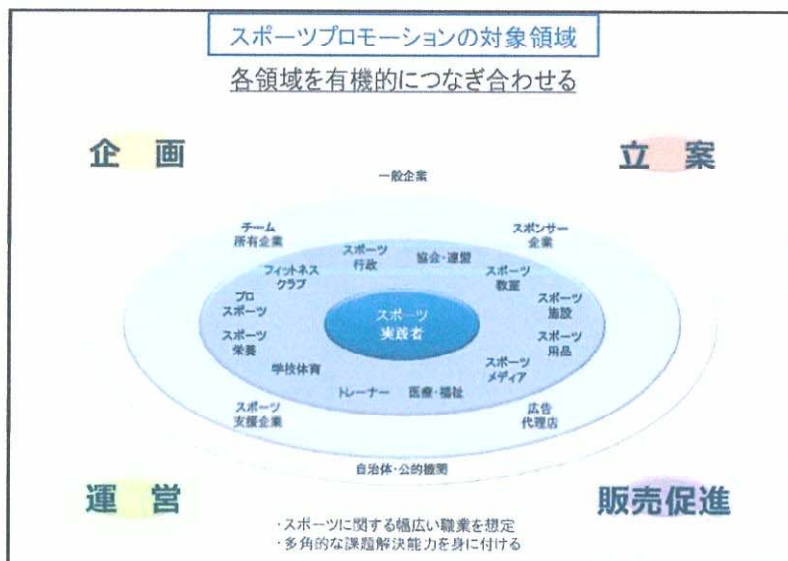
アスリートレストランは地域の方が手作りし、地元の無農薬米や長野県直送のうどん・そば等を使用し、低価格で提供（日替わり定食は300円）している。

エ 専門職の輩出

専門職の人材を全国で数多く輩出しており、平成10年4月の開校以来、全国で大学・専門学校・高等学校・財団法人・社会福祉法人等を運営し、着実な発展を遂げている。

各校ではスポーツ競技者、スポーツトレーナー、スポーツインストラクター、保育士、幼児体育指導者、歯科衛生士、動物看護師、ペットトリマー、ドッグトレーナー、飼育技士、ドルフィントレーナー等の専門職の人材を養成している。

一例として、アテネ五輪（2004年）、北京五輪（2008年）、ロンドン五輪（2012



年)、リオデジャネイロ五輪（2016年）の代表選手やシドニー五輪（2000年）日本選手団公式トレーナー、ワールドカップ大会の優勝者、世界選手権出場者、インターハイ優勝者、プロ野球選手の輩出等、国内外の大会で活躍する幾多のアスリートやトレーナーを輩出した他、ペットトリミング全国競技会での優勝、国家試験（歯科衛生士試験）合格率100%達成とのこと。

校舎の一角に、オリンピックで活躍したアスリートの記録を展示している。

オ 大学の特徴等の説明および意見交換

大学の事務長および留学生担当管理課長より大学の教育概要の説明を受けた後施設の見学を行った。

説明では、スポーツプロモーションの概念をPPにより説明。



(ア) スポーツコーディネーターの育成

先に記した、生活地域・社会をプロモートするスポーツのデザイン経営、政策立案能力開発を学ぶことによって、社会全体を見通す幅広い視点とマネジメント能力を習得し、問題を発見して解決できる実践力を有する人材の養成を目的とした授業を行い、スポーツコーディネーターの育成を目指していると強調。

ライフスタイルの多様化を背景にして、新しいスポーツ享受のビジョンに向けたスポーツプロモーションのためには、これまでの学級や運動部を対象とする画一的な体育モデルのスポーツ指導や、スポーツ集団・組織に焦点を当てるスポーツマネジメントを超えて、これからのスポーツプロモーションの専門的な担い手として、スポーツとスポーツに関わる諸条件・環境とを最適に連携し、企画・立案・実践を行う「スポーツコーディネーター」に期待するところ大。



(イ) 履修科目・共通科目

大学教育を行う上での基礎となる幅広い知識や教養を身に付けるための科目。豊かな人間性を育むためのコミュニケーション能力の習得に重きを置き、学生が自ら積極的に物事に取り組む意思や能力を持てるようになることを目指すという。

- ◎自己開発系
- ◎コミュニケーション系
- ◎教養系

(ウ) 専門基礎科目

自身の経験を生かしながら高い実践力を養うため、スポーツコーディネーション活動を課題に方向付ける「実践課題系」と、具体的なスポーツコーディネーション活動に関わる「応用課題系」の2つの領域に区分して科目を開設し、両方の履修によって領域をつなぎ合わせる総合力を養うという。

- ◎実践課題系
- ◎応用課題系

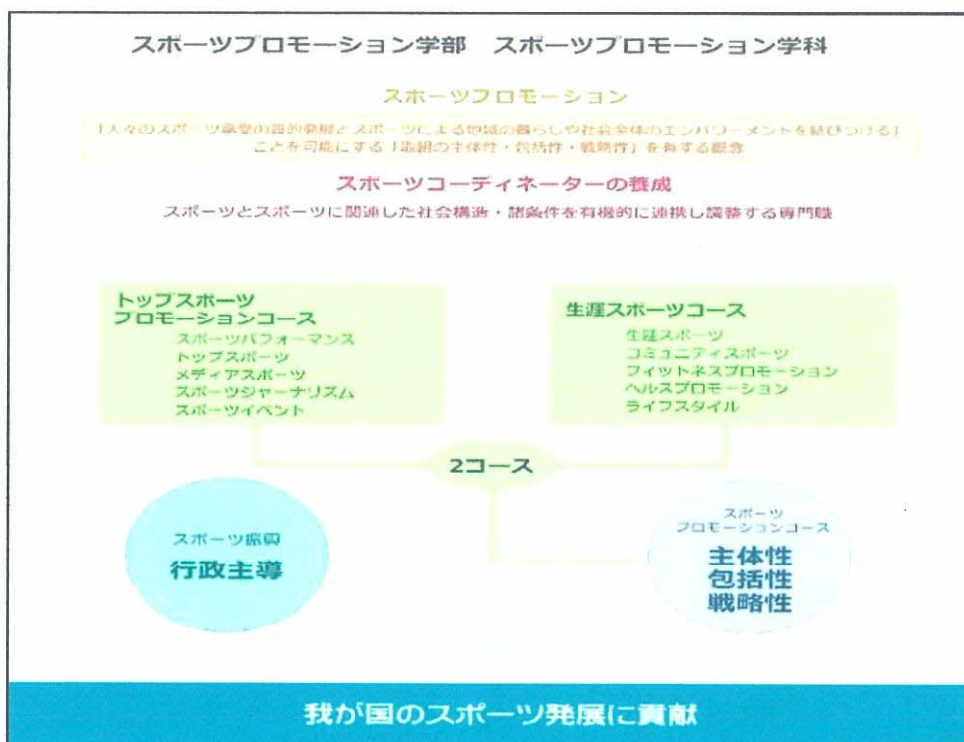
(エ) 専門専攻科目

スポーツプロモーションの各実践分野におけるコーディネーション能力の開発のための最先端理論を学習。卒業後の活躍場面や職域を想定したカリキュラムであり、3年次よりコースを選択し、自己の現職経験と資質や将来展望に基づいて、集約的・組織的に学習できるように設定している。

(オ) 生涯スポーツコース

地域生活における市民のスポーツ享受を高めるスポーツプロモーション、もしくは個々の個人及び社会生活におけるヘルスフィットネスの享受を高めるプロモーションをコーディネーションの側面から支援し、活性化するための能力を開発するコース。

(カ) トップスポーツプロモーションコース



主として、競技スポーツのプロモーションについて、競技者能力を発揮・開発するためのコーディネーション能力を基盤にして、それを取り巻くより広い背景や状況、例えばスポーツ報道やスポーツイベントとの関わりから支援し活性化する能力を開発するコース。

コース設定（3年次より）

カ 施設見学

本館正面ゲート、演習室、PC ルーム、講義室、キャリアセンター、学生ラウンジホール、アスリートレストラン、レスリング場、体育館、野球グラウンド、野球場。

本館にはキャリアセンターがあり、冬季用オリンピックのポスター、^{オリ}林ピック選手の寄贈品などが展示されていた。



2・3号館(小学校の廃校を改修し、講義室、教授の研究室等に改修している)利根キャンパスから徒歩3分に立地し、講義室、図書室、学生ラウンジ、体育館などがある。

正面ゲート、校舎2号館(一部改修中)、校舎3号館(一部改修中)、トレーニングセンター、講義室1、講義室2、バドミントン館

2号館では、外国からの留学生の語学教育を行っていた。1年ないし2年間の教育終了後本科に進む。ベトナム、フィリピン、台湾、韓国などからの生徒が熱心に授業を受けていた。



野球グラウンドでは、社会人野球の選手が練習に励み、グラウンドでは、大学野球チームが練習していた。

体育館では、男子バレーの練習、バドミントン館は、練習準備が進められていた。



(2) 茅野市

茅野市は遠く数千年のむかし、尖石など縄文文化の栄えた時代にはじまり、古代はこの地に大和朝廷による東山道の開通、東北蝦夷征討の信濃軍団基地や、朝廷の御用馬を供給する勅旨牧として山鹿の牧がおかれていた。

古代から中世には諏訪大社上社前宮に諏訪大祝が館(神殿)を構え、諏訪一円の祭政の中心となり、鎌倉街道も通ずるなど諏訪地方の政治・経済・交通・文化の中心地であった。

戦国時代は、一時諏訪氏の領有をはなれ武田氏が上原城(ちの)を拠点として諏訪地方一円を統治しましたが、慶長6年(1601年)ふたたび諏訪氏の手に戻り、甲州街道が開かれ、金沢は宿場町となり、江戸時代260余年間には多くの新田村がうまれた。



昭和23年永明村は町制を施行し、昭和33年8月1日市制施行により、現在の茅野市が誕生し、現在に至っている。

八ヶ岳火山列は、富士山に次ぐ広大な裾野をもち、茅野市は、その西側北半分を占めています。諏訪盆地平坦部の南部、標高770メートルから1,200メートルにわたるゆるやかな裾野には多くの集落、耕地が展開し、市民生活、産業、文化等の基盤となっている。

標高 庁舎の位置 801.6メートル、



面積 266.59 平方キロメートル

人口 6月1日現在：

55,756 人 27,912 人

世帯数 23,102 世帯

ア 子育て支援事業

事業全般のうち特色ある事業として「一日保育士体験」「幼保小連携推進事業」「保育士の働き方改革」について説明を受けた。

(ア)一日保育士体験

茅野市ではどんぐりプランの中で「親育ち」を施策の一つにあげ、こどもの成長に伴って、親自身が学び、人間として豊かに成長することができることを提唱している。



一日保育士体験は、保護者の方が自分の子どものクラスに入り、保育園での生活や遊び、学びの実体験をして我が子や他の多くの子どもたちと触れ合うことで、子どもの育ちや育児に対する視野を広げ、家庭での育児を見直す機会のきっかけ作りに務めている。

また、保護者と保育士の相互の信頼関係を深め、子どもにとってより豊かな生育環境を築き、「親」としての役割と責任を実感する機会を提供している。

一日保育士を体験し、人との絆やコミュニケーションが深まることは、日常生活や職場でも大きな意義を持つ。

a 目的

- ・体験を通して子育ての楽しさを知る。
- ・保育園とのかかわりや子どもに対する相互理解を深める。
- ・保育士の資質向上の機会とする。
- ・保育に関わることで、集団の中でわが子を客観的にみる。
- ・保育園と保護者との信頼関係を深める。
- ・保育士としての一日の仕事内容を知る。

b 実施場所

市内18保育園の全クラスで行っている。

c 日程

休園日及び土曜日、行事（遠足、運動会等）を除く日
午前8時30分から午後4時00分まで

d 対象となる保護者

市内保育園に子どもを預けている保護者

e 申込方法

在園している保育園へ、希望する日を申込書にて申し込む。複数の希望者がいる場合調整する。原則として1日、1クラス、1名。

f 経費

給食費（おやつ代も含む）を1人260円

(イ) 幼保小連携推進事業

幼児期の子どもたちは、遊びを通して自分の思いを実現し、主体性や学ぶ意欲を育みます。一方児童期では、学校でのねらいをもった教科学習や、決められた時間の中での集団生活に移行します。

この環境の変化は、子どもたちにとって大きなもので、期待感をふくらませ、新たな人間関係や生活環境に適応しながら、安心して学校での生活や学習が進められるようにすることが求められる。

そのために、『茅野市幼保小連携推進計画』に基づき、幼稚園・保育園・小学校において「幼保小連携教育」に取り組んでいる。

a 幼保小連携教育の「4つの取り組み」

幼児教育と小学校教育の円滑な接続の実施のために、「異年齢交流」「職員連携」「保護者連携」の「三つの連携」と「接続期カリキュラム」を合わせた『四つの取り組み』を幼保小連携教育推進の重点活動として取り組んでいる。

b 幼保小連携教育の推進

「幼保小連携教育協議会」と「連携推進委員会」が中心となって幼保小連携教育を推進している。

連携協議会では、年2回、各小学校区の連携担当職員が集まり、連携計画の立案と振り返りを行っている。

また、上越教育大学の木村教授の講演会か公開研究会、異年齢交流研究を毎年開催し、研修を深めている。

(ウ) 接続期カリキュラムの実際

a アプローチカリキュラムの実際(幼稚園・保育所)

午睡がなくなる10月から実施している。全園ではこの期間中、小学校の先生方や保護者に向けてアプローチカリキュラムの様子を公開している。

公開を通して小学校では、保育の遊びを通じた学びの重要性や年長児の積み上げてきた力を知り、スタートカリキュラムへのつながりの意識を持つことができている。

b スタートカリキュラムの実際〔小学校〕

小学校では、アプローチカリキュラム参観や幼稚園訪問、合同職員会等を通して、幼稚園で育まれてきた資質・能力を幼稚園と小学校が共有し、小学校低学年でどのように伸ばし発展させていくかの展望を持って、スタートカリキュラムを作成・実践している。スタートカリキュラムの期間は幼児期の教育と小学校教育の接続の期間であるので、4週同じリズムや内容で進めるのではなく、幼稚園で育ってきた資質・能力が発揮される場面を設けるなどしながら、5月以降の生活や学習にスムーズにつながっていけることを意識して実施している。

交流活動を積み重ねることを通して、年長児にとっては顔なじみの児童や職員ができ、やさしく接してもらえたり、仲良く遊んだりすることで学校は楽しいところという意識が持て、小学校に対する抵抗感が少なくなり、入学への期待感を持つことができている

幼稚園で遊びや生活を通して育ってきた資質・能力を小学校教育につなげ

ていく上に、生活科の役割は大きい。スタートカリキュラムでは生活科を中心とした合科的・関連な指導や弾力的な時間割の運用などを通して、幼保小の学びがつながることを大事にしている。

(エ) 異年齢交流による連携の実際

年齢差のある園児と児童との互惠性のある「ふれ合い学び合う活動」を通して、以下の3点の実現をめざしている。

○人や環境に親しみ、学校生活への意欲や憧れ、^自自己肯定感、思いやりの気持ちを育む。

○相手の喜びを自分の喜びとして感じるができる子どもを育む。

○「三つの力」(生活する力・かかわる力・学びの力)を培う。

交流活動を積み重ねることを通して、年長児にとっては顔なじみの児童や職員ができ、やさしく接してもらえたり、仲良く遊んだりすることで学校は楽しいところという意識が持て、小学校に対する抵抗感が少なくなり、入学への期待感を持つことができている

幼稚園で遊びや生活を通して育ってきた資質・能力を小学校教育につなげていく上に、生活科の役割は大きい。スタートカリキュラムでは生活科を中心とした合科的・関連な指導や弾力的な時間割の運用などを通して、幼保小の学びがつながることを大事にしている。

交流計画は、年度当初の小学校と幼稚園の連絡会で立てている。

計画は幼保小合同職員会で確認し合い、全職員が協力できる体制がとれるようにしている。

交流活動を積み重ねることを通して、年長児にとっては顔なじみの児童や職員ができ、やさしく接してもらえたり、仲良く遊んだりすることで学校は楽しいところという意識が持て、小学校に対する抵抗感が少なくなり、入学への期待感を持つことができている。

また、園児と児童が互いに相手意識を持てるようになり、共に活動する中で自己有用感 や自己肯定感を味わうことができている。

(エ) 教育連携の実際

職員連携では、

- ①幼稚園と小学校の互いの保育、教育について理解を深める。
- ②学校園 の職員同士が顔なじみになり、互いの基本方針の確認をし、意識の差をなくしていく。
- ③活動のねらいを共有し充実した取組にするために、直接会って打ち合わせることを大切にしている。

一日保育士体験は、毎年、校長教頭が率先して体験を行っており、29年度は全職員の職員連携を通して、職員同士が幼稚園の子どもの育ちが小学校につながっていることを意識でき、連携の大切さや必要性を感じ取るようになってきている。

この職員のつながりが、幼保小連携『四つの取組』を充実させる底力になっている。

*1年生保護者アンケートでは、「子どもが楽しんで学校に行っている」84%、「異年齢交流は登校の不安軽減につながっている」92%、「アプローチカリキュラム・スタートカリキュラムが入学の不安軽減につながっている」66%であった。

茅野市の幼保小連携教育が保護者に好意的に受け止められていることが伺える。これからも子どもの連続した育ちと学びの実現をめざして、実践を積み重ね、幼保小連携教育を充実させるといふ。

(オ)保育士の働き方改革
改善事項

	改善項目	内 容
22年度	①休憩代替の配置	45分の休憩を取得するための代替保育士の採用
25年度	①木曜日ノー残業デーの実施	木曜日をノー残業デーと位置づけ実施
	②社会人枠保育士の採用①住所要件の撤廃	保育士経験年数「10年以上」、茅野市に住所を有する方(5月1日現在)住所要件を撤廃
26年度		
27年度	①事務代替の配置	クラス担任が勤務時間内に1.25時間の班務時間を確保するための代替保育士の雇用
28年度	①保育士養成校への訪問	保育士として茅野市で働いてもらえるよう養成校を訪問。訪問校は、県内6か所、県外3か所。また、非正規保育士募集のための求人票の掲示もお願いしている。(平成28年度は15名の応募があり、13名を採用)
	②嘱託保育士賃金額の改善	クラス担任を非正規保育士が担う状況であることから、クラス担任嘱託保育士の賃金枠を設けた。
	③保育士再任用の実施	退職後の園長、保育士を継続任用
	④社会人枠保育士採用試験の受験資格の変更	茅野市公立保育園での保育士経験年数「10年以上」を「5年以上」に短縮。
29年度	①主任保育士の配置基準の見直し及びフリー化	主任保育士の配置基準を見直し、保育標準時間開所園7園にフリーの主任を配置。(残りの園は段階的に実施予定)主に、シフト勤務保育士の代替、園全体の保育指導や課題の把握を行う。延長保育分の超過勤務の削減・保育士育成の効果が出ている。
	②事務職員の配置	園長の事務軽減を図るために配置。
	③主任保育士フリー化に伴うシフト勤務の実施	保育標準時間開所園において、午後5時以降の保育の責任者として残る保育士は、シフト勤務とする。

	④ 嘱託保育士賃金額の改善	任用5年目で打ち切りになっていた賃金の段階的引き上げ。(毎年実施)
	⑤ 新規非正規保育士の嘱託化	初任者は臨時職員(日給)であったが、1年目から嘱託職員(月給)とした。
	⑥ クラスの責任者となる嘱託保育士の処遇改善	賃金額は、勤務年数に応じた額にするが、期末手当率を引き上げた。
	⑦ 郡外居住者への家賃の助成	非正規保育士に対し、茅野市内転居に限り住宅手当相当分を支給。
30年度	① 7 H非正規保育士の任用改善	途中入所希望に対応するための保育士確保などから、年度途中の雇用についても嘱託保育士とした。

イ 待機児童の現状と対策について(4月1日現在)

(ア)保育士の現状と対応について

	クラス内訳			計	主任		園長	育休・療休	正規合計	一時	加配		嘱託・臨時合計	合計
	正規	クラス嘱託	嘱託		クラス	フリー					7H	5H		
公立園	68	15	48	131	10	10	13 + 2	16	107	6	14	12	95	202
課代替保育士等	1	0	7	8	0	0	1	3	5	0	0	0	7	12
計	69	15	55	139	10	10	14	19	112	6	14	12	102	214

(イ)待機児童の現状と対策について

- a 10月の一斉申込み時の入所希望者の受け入れはすべて可能であった。また4月時点でもすべて受け入れができたことから、待機児童は発生していない。
- b 途中入所希望者は、市で示した園の空き状況から毎月15日までに申し込みを行うが、保護者の就労等、保育を必要とする要件の点数化によって優先順位をつけているため、希望園がある場合は(受付可能 人数の超過)待機児童が出る可能性がある。
- c 待機児童を出さないためには、保育士の確保が最条件となる。(特に非正規)現在は待機児童が発生してはいないが、今後発生することも考えられるので、今から確保のための対応策は取っていかなくてはならない。経済的支援や優遇措置など、多方面から検討をしていく。

ウ 茅野市尖石考古博物館

東松島市と同様に縄文文化を伝承し遺跡の維持管理を行っている尖石縄文考古館を視察した。

八ヶ岳山麓の美しく豊かな自然を舞台に、今から 5000 年の昔、縄文文化が繁栄



しました。尖石遺跡はそうした八ヶ岳山麓の縄文文化を代表する遺跡。

尖石縄文考古館は、尖石遺跡の出土品をはじめ、2体の国宝「土偶」（縄文のビーナスと仮面の女神）など、八ヶ岳山麓の縄文遺跡から発掘された2000点余りの優れた考古資料を展示している。

守谷館長・両角文化財課長などからの説明を受けた後、館内を見学した。

尖石遺跡は昭和27年（1952年）に、わが国ではじめての国特別史跡に指定されました。では誰がこの遺跡を発掘したのでしょうか。

考古館では、国宝の土偶より先に茅野市名誉市民の宮坂英弼（ふさかず）氏を研究業績を紹介している。

彼は、もともとは考古学の専門家ではなく、小学校の教員でした。

昭和5年（1930年）から、仕事の傍ら、尖石遺跡の発掘を個人で行い、戦中戦後の厳しい社会情勢下、家財を売り払って発掘資金に充ての発掘調査でした。

研究結果は、戦後の縄文集落研究でこれ以上ない先行研究として、輝かしい功績を残しました

尖石遺跡は昭和27年（1952年）に、わが国ではじめての国特別史跡に指定された。

尖石縄文考古館には常設展示室と特別展示室があります。また、休憩のできる喫茶コーナーやテラス、体験学習ができる学習コーナー、史跡公園の復元住居を見下ろせる展望ギャラリーもあります。館内では、無料Wi-Fiインターネットが利用できる。

○展示室A 特別史跡尖石遺跡

日本で初めて縄文時代のムラが発掘された尖石遺跡・与助尾根遺跡と、発掘を行った茅野市名誉市民宮坂英弼（ふさかず）氏の研究業績を紹介している。

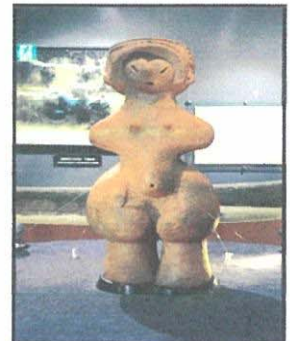
○展示室B 2体の国宝土偶 縄文のビーナスと仮面の女神

棚畑遺跡から発掘され、縄文時代の遺物として初めて国宝に指定された土偶「縄文のビーナス」、中ッ原遺跡で発掘された国宝「仮面の女神」を展示している。

縄文文化を代表する2つの土偶について、出土状況の模型や写真を使って展



仮面の女神



縄文のビーナス



示している。

○展示室C 八ヶ岳山麓の縄文文化

今から 5000 年前から 4000 年前の豪放な装飾を施された土器を中心に八ヶ岳山麓に栄えた縄文文化について多彩な遺物を展示しています。



○展示室D 縄文時代の暮らし

縄文時代の衣食住や四季折々の暮らしぶりについて、模型や映像、体験学習を通じて体感する展示室だ。

○学習コーナー

粘土を使った体験学習（随時受付）、図書の閲覧などができる。

随時受付の体験学習は、個人と団体のお客様で内容が異なる。

「縄文教室」等の体験型講座の会場にもなる。

○ガイダンスルーム

各種映像プログラムをご覧いただけます。縄文時代の概要については「尖石へようこそ」（約 13 分）がおすすめ。



国宝「土偶」（仮面の女神）の発掘ドキュメント映像「仮面土偶発掘」（約 10 分）、宮坂英弉氏の歩みを振り返る「尖石を掘った人 宮坂英弉」（約 30 分）。

座席は常時 90 席。縄文ゼミナールや尖石縄文文化賞授賞式など、講演会やイベントの会場にもなる。



○展望ギャラリー

ベンチを設置してありますので休憩できる。

史跡公園の復元住居を見下ろせ、与助尾根遺跡の復元住居は 6 軒。同時に建っていた可能性のある 6 軒なので、縄文時代の村落の様子を感じられる。

(3) 宮城県東京事務所

宮城県東京事務所の現状と派遣職員の活動状況視察を行った。

都道府県会館 1 2 階に位置する事務所を訪れたが伊藤所長、大場・相澤両副所長、小山主幹および東松島市から派遣されている鳴瀬主事としばし懇談し、池袋にある「アンテナショップ」に移動し昼食とした。



東京事務所の業務内容は次の通りである。

ア 県政に関する情報の収集・発信

宮城県庁が地方分権時代にふさわしい「政策官庁」としての役割を求められる

なか、県の施策を進めるための質の高い首都圏情報や、新しい施策の企画立案のための情報を集め、県庁の各部局などへすばやく提供している。

また、県の政策や観光、物産などについて、首都圏及び全国に向けて情報発信している。

イ 企業立地のご案内

企業立地を進めるため、首都圏の企業を積極的に訪問し、移転や新規進出等の情報収集や県内の立地環境などの説明を行っている。



ウ 観光や物産のご案内

宮城県の観光や物産に関する情報提供を行っている。

窓口案内のほか、電話でもご案内を行っている。

エ UIターン相談

宮城県内へのUIターン等就職を応援するため、東京と仙台に情報センターが設置されている。

オ 連絡調整

中央省庁、首都圏の民間企業などと、県庁各部局などとの連絡調整などの活動を行っている。

カ 「宮城ふるさとプラザ」

「宮城ふるさとプラザ」は、首都圏の皆様にも、宮城県の魅力あふれる特産品や観光情報を総合的に発信する拠点施設（アンテナショップ）。



当プラザの1階では、宮城のおすすめ商品の紹介・販売はもちろん、県内企業がつくった新商品のテスト販売や、県内の企業や市町村が直接お客様とふれあいながらのイベント販売などを行っている。

2階では宮城の四季折々の観光・イベント情報をご案内するコーナーの他、飲食コーナー「伊達の牛たん本舗」を設置している。

宮城県では、当プラザの運営を通じて、多くの皆様に受け入れられる特産品づくりや販路拡大などの県内企業への支援を行うとともに、首都圏からの観光・ビジネス客の誘致や交流人口の増加に繋がられるよう宮城の旬の情報を届けている。



この日、大崎市古川からちそ味噌を販売に来ていた。

昼食には、牛タンを食べた。

今回の視察は、新会派となって初めての視察となったが各視察場所ごとに所見を述べる。

(1) タイケンスポーツ大学(布佐町)

市が誘致を進めている学校法人タイケン学園が行う大学の施設を視察した。先に調整していた理事長との面会表敬は、理事長急用のためかなわなかった。管理課長等からの説明案内によりウェルネススポーツ大学の概要を知ることができた。

スポーツ大学では、学生のソースは、純粋な学生のほかに社会人が各種スポーツニーズに合わせ大学の施設を利用したり、オリンピックアスリートなどが学生として席をおいていた。

中学校の廃校を改修した施設だか、廃校後3年以上も放置されていただけに改修費用は予想を遙かに超え約12億円程度かかったとのこと。

未だ完成してはいないが教育環境としては十分であると感じた。スポーツ大学のためグラウンドや体育館はやや狭隘であり練習等で工夫が必要とのこと。大学対抗やアスリートも学生として施設を利用しているようである。

本市が誘致する場合、本施設の維持管理については、良好な状態で引き渡すよう努める必要がある。

語学勉強をしているベトナム、台湾、カンボジア、フィリピンなどからの若い学生の勉強風景を見学したが2年後には本科に進むことになるという。

また、実業団で活躍するアスリートたちが学生としてこの施設を利用していることから正規の学生のほかこの施設を利用していることを考えると東松島市の鳴瀬未来中学校や鳴瀬桜華小学校の跡地を利用してのは、全寮制をかがげての専門的な高校の誘致プロジェクトは、本市にとって千載一遇のチャンスであり各種の支援を積極的に行う必要があると感じた。

全寮制のメリットとして、市に年間一人約10万円程度の交付が予測されることは、地域活性化のみならず、市の財政の幅が広くなり、若者が集うことのメリットは計り知れない。

誘致決議などして是非誘致が成功するようバックアップする必要がある。

(2) 茅野市

ア 子育て支援事業

特色ある子育て支援事業としての特に3つの事業が印象的であった。

・「一日保育士体験」

参加率が高く子育てに対する意識の高さが印象的であった。

我が子のみならず他の子供とのふれあい



がその後、育児に関する視野を広げることに役立っている。また人との絆が、地域とのコミュニケーションを深めるのに役立っている。何かの機会に本市においても実践できるよう提案したい。

・「幼保小連携推進事業」

関係職員のみならず、異年齢交流や保護者の連携にも事業を拡大、幼・小・中学生との交流にも力を入れ子供たちが節目の時期に安心して生活できる環境作りには感銘した。

・「保育士の働き方改革」

改革を初めてやく8年を要し現在に至っている。

保育士が市内に定住しやすい環境作り(住宅手当の支給)や給与をはじめとする処遇改善は、働く場所とニーズを的確に把握してのことであり、本市の問題解決の糸口にもなると感じた。

イ 尖石縄文考古博物館

文化財の保護・維持管理の状況把握の状況を視察したが茅野市が保有する尖石縄文考古博物館を視察し、文時代からの遺跡と発掘・遺物管理・公表状況などをつぶさに知ることができた。

博物館では、国宝である2体の縄文土器(仮面の女神、縄文のビーナス)を間近で見ることができた。室内で体験できるコーナーや竪穴式住居などの復元展示、これなを利用しての文化教育やイベントなどは、本市が同じ縄文時代の遺物を保有し、管理している状況からするとうらやましくもあった。



予算の使い方、現状に甘んずることなく遺跡などの維持管理により真剣に取り組んでいく必要性を感じた。

今後も歴史的重要な遺物等の管理運営にさらなる提案を続けていきたい。

ウ 宮城県東京事務所

事務所での所長や派遣の鳴瀬氏の企業誘致に向けた真摯な態度、熱意・真剣さに継続の大切さを感じた。

市長が就任後速やかに派遣した成果に今後期待したい。

併せて、渋谷のアンテナショップの繁栄ぶりに驚かされたが東松島市の商品が少なかった。



奇しくも、大崎市古川から1週間の日程でちそ味噌販売を訪れていた女性とお話したが狭い店内で真剣に販売活動している姿は、今後少しづつではあるが浸透していくであろうことに期待したい。